

平成 28 年 3 月 14 日

卓上型対話支援機器（コミュニケーション）の全店導入について

当行は、CSR活動の一環として、窓口担当者の声をより明瞭にしてお客さまの聴こえをよくする「卓上型対話支援機器（コミュニケーション）」を全店に導入いたしますので、お知らせいたします。

当行は、これからもご高齢のお客さまや障がいをお持ちのお客さまに配慮したサービスの向上に努めてまいります。

記

1. 目的

平成 28 年 4 月に施行予定の「障害者差別解消法」は障がいを持つ人に対する差別や制限を禁止し、平等な機会を確保するため、障がいの状態を考慮したサービスの提供を民間企業の努力義務としています。当行はお客さまサービス向上のため、今回「卓上型対話支援機器（コミュニケーション）」を全店に設置するものです。

なお、本機の全店設置については、九州の地方銀行で初の取組みとなります。

2. 機器の概要

(1) 名称 卓上型対話支援システム「COMUOON コミューン」

(2) 機能 専用マイクと専用スピーカーを使用し、窓口担当者の声をより明瞭にして、お客さまの聴こえを向上します。

3. 設置場所

全店

4. 運用開始日

平成 28 年 4 月 1 日



(窓口使用イメージ)



(専用スピーカーとマイク)

＜ご参考＞【卓上型対話支援機器「コムーン」について】

【製造元】株式会社ユニバーサル・サウンドデザイン(東京都)

【特徴】

・ 語音聴取に最適な特性

語音の聴取は、比較的low周波の母音よりも高周波の子音によるところが大きく、特にK、S、Tといった子音は高い周波数を持っています。これらをカバーする周波数特性を筐体の形状で生み出しています。

・ 室内での音の反射を抑制

COMUOONは独自の卵形状とスピーカーの最適配置により、2kHz以上の音はスピーカーの前方に強く指向します。室内の壁の反響を抑え、クリアな音声を再現しています。

・ 中等度難聴者までカバー

九州大学耳鼻咽喉科の検証により70dB程度の中等度難聴者(感音難聴も含む)で補聴器を装着せず往診時での有用性が確認され、老人性難聴の方でも高い効果が実証されています。

・ 対話の際満足度が向上

大声で会話をすることは、話す側と聞く側双方にとってストレスになります。COMUOONがあれば声を荒げる必要性がなくなり、話者と難聴者双方のコミュニケーションの改善が可能となります。

以上

《本件に関するお問い合わせ》
肥後銀行 総合企画部 文化・広報室
担当：積
電話 096-326-8601